bloom株式会社

AI音声対話でケース面接対策の属人化を解消し、事業成長を実現した事例

OpenAI Realtime API活用による開発・導入ケーススタディ



NotebookLM

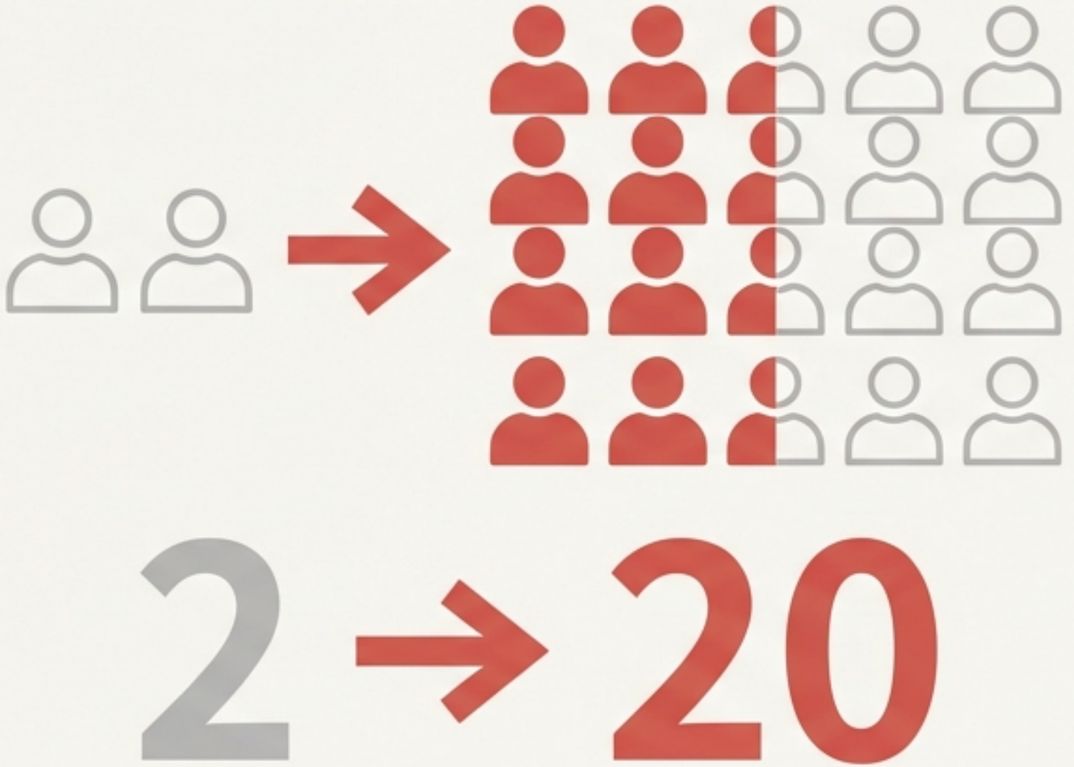
1週間の開発で、専門アドバイザーを10倍に増強

音声対話AIアプリを導入し、コンサル業界向け人材紹介事業における長年の課題であった「ケース面接対策の属人化」を解消。事業拡大の基盤を構築しました。

課題（Problem）
コンサル出身者2名に依存した対策体制が、求職者の不安と事業のボトルネックを生んでいた。

解決策（Solution）
OpenAI Realtime APIを活用し、実践的な音声対話型AIアプリを1週間で試験導入。

成果（Impact）
対応可能なアドバイザーが**2名 → 20名**に拡大。求職者の対策実施率も向上し、サービス品質が安定。



NotebookLM

なぜ「ケース面接」がコンサル転職における最大の壁となるのか

ケース面接は、単なる質疑応答ではなく、ビジネス課題に対する思考プロセスそのものが評価される特殊な選考形式です。



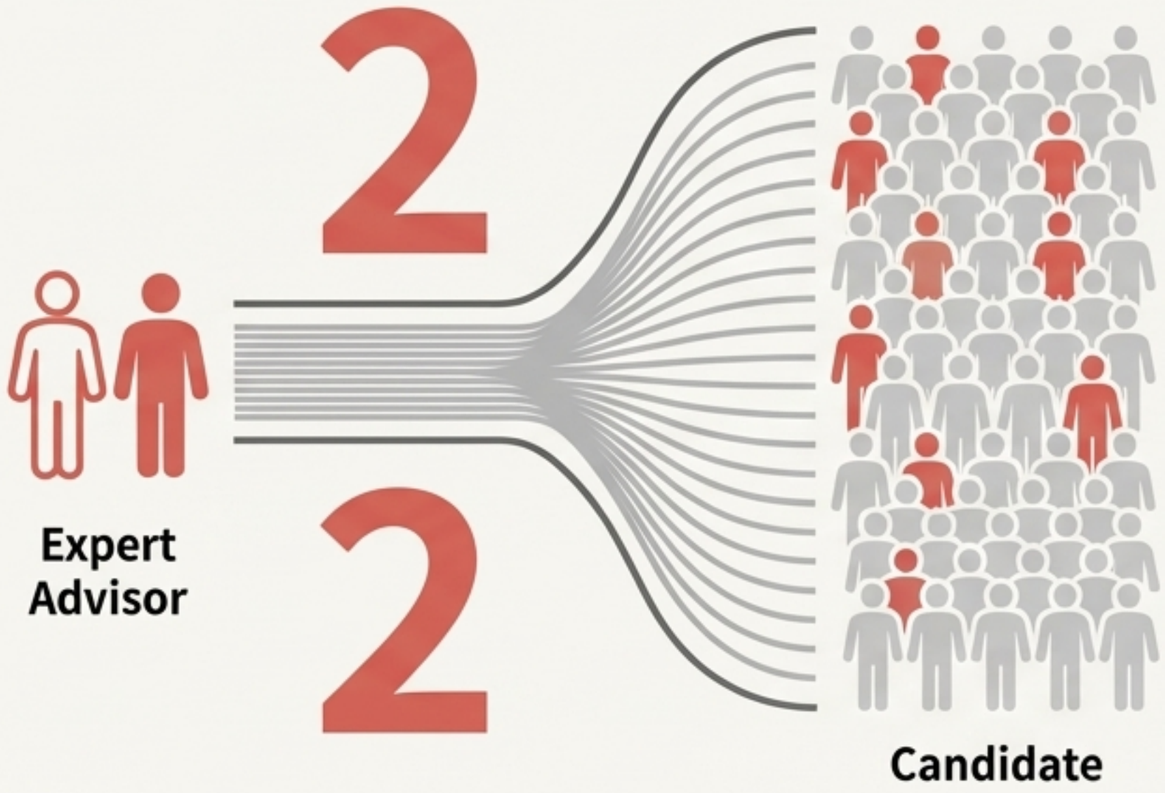
- **課題例**：「コンビニの売上を2倍にする施策は?」「国内の美容室の市場規模は？」
- **評価項目**：論理的思考力、仮説構築力、コミュニケーション能力が総合的に試される。
- **困難さ**：思考を構造化し、面接官と対話しがら解を導く必要があり、事前練習なしでの突破は極めて困難。

> 「求職者にとっては、ケース面接の対策をどこまで行えるかが選考通過の鍵を握る」

NotebookLM

事業成長の障壁となっていた「2名」への依存体制

高度なスキルが求められるため、ケース面接対策はコンサルティングファーム出身のキャリアアドバイザー2名に完全に依存。この「属人化」が深刻な課題でした。



リソースの限界（Resource Limitation）

2名では全求職者への対応が不可能。日程調整が困難で、機会を逃す求職者が多数発生。

求職者の不安（Candidate Anxiety）

「練習機会がないまま本番を迎えるのでは」という不安が、候補者体験を損なっていた。

事業拡大の障壁（Barrier to Growth）

特定人材への依存はスケールを妨げ、事業成長の直接的な足枷となっていた。

NotebookLM

解決策：いつでも、誰でも、何度でも。AIによるケース面接対策アプリ

属人的スキルへの依存から脱却するため、OpenAI Realtime APIを活用した音声対話型Webアプリケーションを構築。

実践的な対話形式

テキストではなく、実際の面接に近い「音声」でリアルタイムに対話しながら練習。



完全な自律学習

アドバイザーとの日程調整は不要。求職者が自身のペースで主体的に学習可能。

パーソナライズされた学習

習熟度に合わせた難易度調整と、客観的な評価・フィードバックを提供。

NotebookLM

効果的な学習サイクルを実現する3つのコア機能

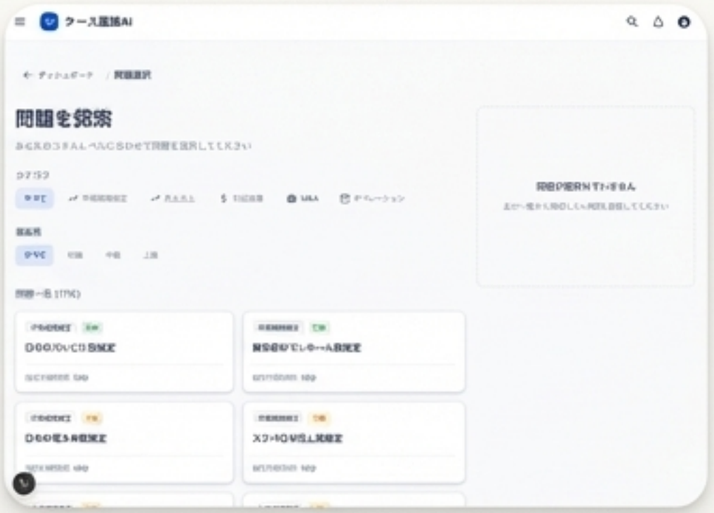
リアルタイム音声対話

AIと自然な音声で会話しながら、実際の面接に近い臨場感で練習。思考が中断されず、対話力も鍛えられる。



難易度調整と多様な問題

初級・中級・上級の3段階からレベルを選択可能。市場規模推定から新規事業立案まで、多様なカテゴリの問題を収録。



詳細な評価フィードバック

論理性・構造化・定量分析力など多角的な観点からスコアを算出。模範解答と改善点を提示し、学びを定着させる。



NotebookLM

直感的なUIで、登録から実践、評価までをシームレスに

1

ダッシュボード

ログイン後、過去の練習履歴や平均スコアを一目で確認。



2

問題選択

自身のレベルや挑戦したいカテゴリに合わせて、17件以上の問題から練習したいものを選択。



3

セッション開始

スタートボタンを押すだけでAIとの音声対話が開始。複雑な設定は一切不要。



4

評価と振り返り

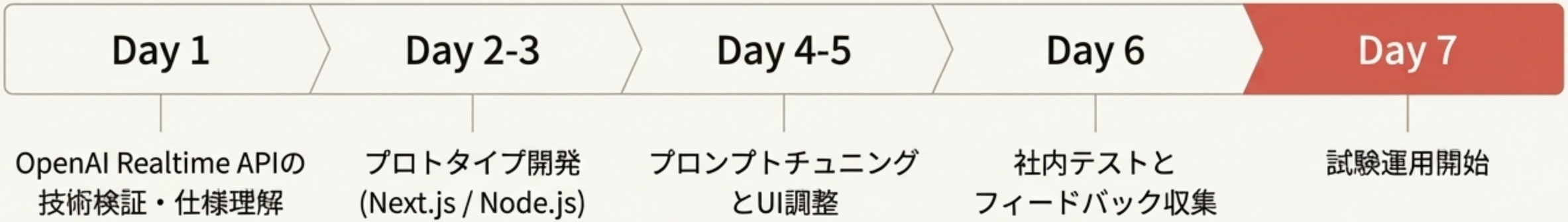
約10分のセッション後、即座に総合スコアと詳細なフィードバックを確認し、次の学びに繋げる。



NotebookLM

企画から試験導入まで、わずか1週間の高速開発

完璧なシステムを目指すより、まず現場に届け、フィードバックを得ながら改善するアジャイルなアプローチを選択。

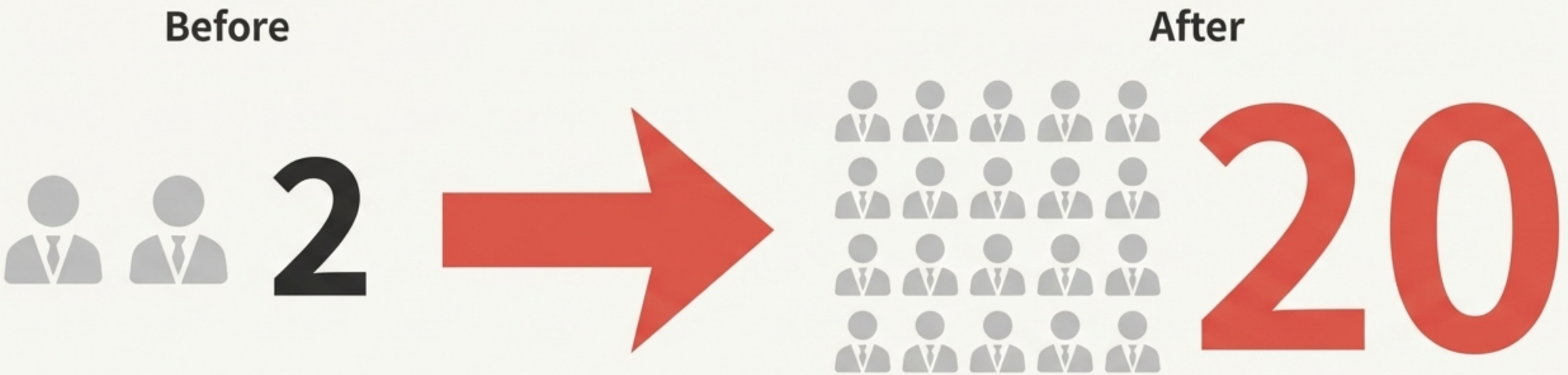


Enabler

「Realtime APIが音声認識・自然言語処理・音声合成を担うため、アプリケーションのロジックとUX設計に集中できたことが短期間での実現を可能にした」

NotebookLM

成果①：ケース面接の対応キャパシティが10倍に拡大



システムが対策の中核を担うことで、コンサル未経験のアドバイザーでも求職者への機会提供が可能に。

- **Before:** 特定の担当者2名のみ対応可能。
- **After:** 20名体制で、いつでも安定したサービスを提供。

Business Implication: 属人化を解消し、事業のスケールアップを阻害していた根本的なボトルネックを取り除いた。

NotebookLM

成果②：求職者の主体的な学習を促し、対策の「質」も向上

求職者への効果



対策実施率の向上（Increased Practice Rate）

日程調整の壁がなくなり、希望者全員が対策を実施できる環境を実現。



主体的な学びの促進（Fostering Proactive Learning）

「納得がいくまで、自分のペースで何度でも練習できる」ため、学習の深化に貢献。

アドバイザーへの効果



高付加価値業務への集中（Focus on High-Value Tasks）

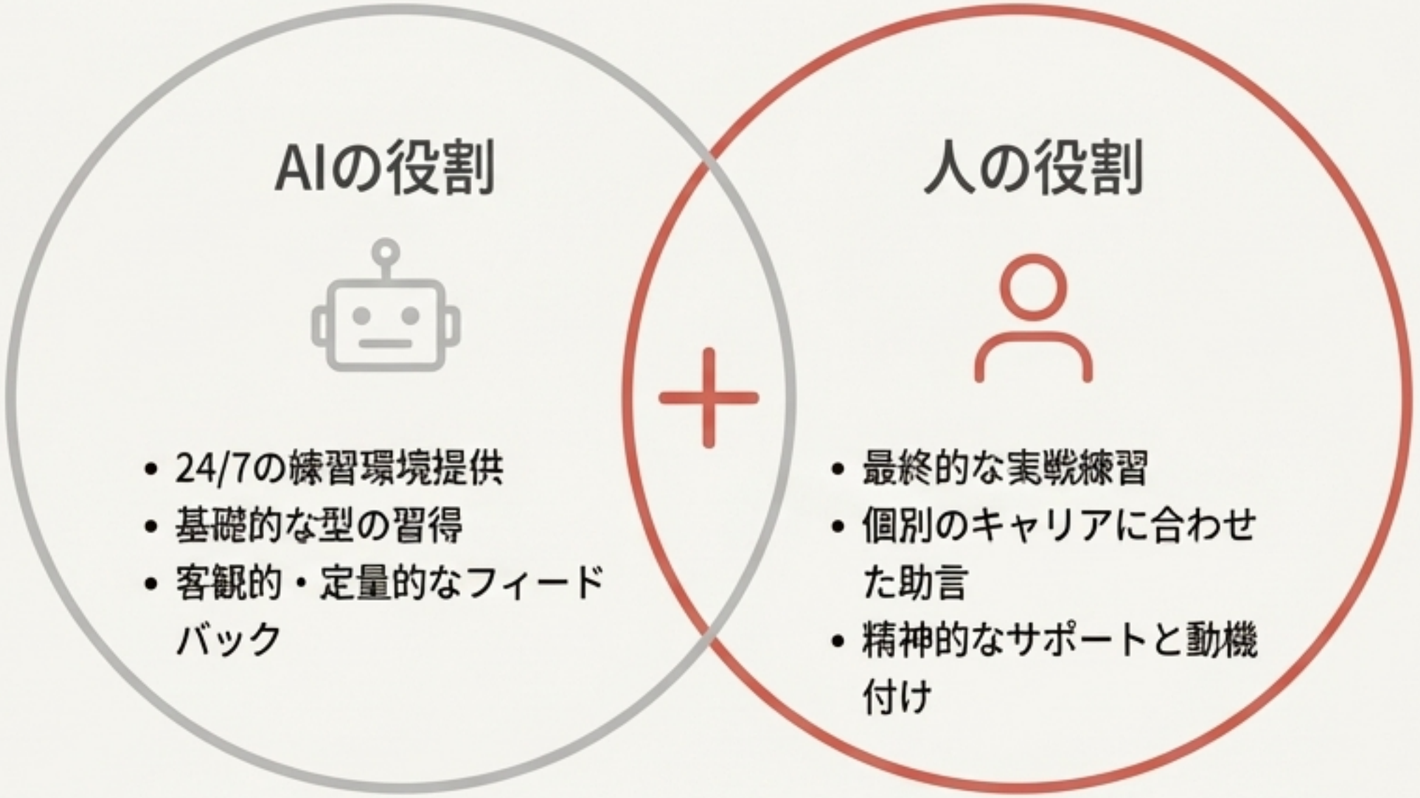
AIが基礎練習を担うことで、アドバイザーは個別の不安に寄り添うなど、より専門的サポートに時間を充てられるように。

「アプリで練習した人は、本番でも落ち着いて対応できている」 – 現場のキャリアアドバイザーの声

NotebookLM

AIと人の最適な役割分担：テクノロジーは「代替」ではなく「協業」のパートナー

AIは繰り返しの練習や基礎スキルの定着に、人は求職者一人ひとりの状況や不安に寄り添う最終サポートに。それぞれの強みを活かすことで、支援体制全体の質を最大化する。



この役割分担が、効率的かつ質の高い支援体制の鍵となる。

NotebookLM

今後の展望：ケース面接から、全ての面接対策プラットフォームへ

このプロジェクトで得た知見と技術を基盤に、より広範な求職者支援へとサービスを拡張していく。



ケース面接対策（現在）

コンサル業界特化の基礎を確立

一般的な面接対策への拡張

志望動機の深掘り、職務経歴の効果的な伝え方など、コンサル業界以外の面接にも対応する機能を追加。

企業特化のカスタマイズ

特定の企業で頻出する質問パターンや、企業が重視する評価軸を反映した、より高精度な対策モジュールを提供。

NotebookLM

本プロジェクトから得られた3つの成功要因

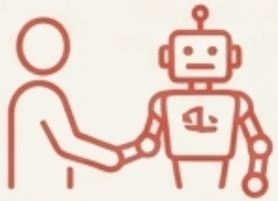
1



「音声でのリアルタイム対話」がもたらす実践的価値

対話型の選考には、テキストではなく音声での練習が不可欠。技術選定が提供価値を大きく左右する。

2



「AIと人」の最適な役割分担の設計

AIに基礎を、人に最終サポートを任せることで支援体制を最大化。テクノロジーは業務を代替するのではなく、強化するものである。

3



「小さく始めて育てる」アジャイルな開発アプローチ

1週間での試験導入が、現場のリアルなフィードバックを早期に獲得し、本当に価値あるツールへと進化させる原動力となった。

NotebookLM